

第三次千曲市子ども読書活動推進計画

豊かな感性と想像力を育む



令和2年4月
千曲市教育委員会

はじめに

読書活動は、子どもたちにとって、言葉を学び、新たな知識を身につけ、表現力や想像力を培うと共に、生活の中に楽しさとうるおいをもたせます。そして、これらの読書体験の積み重ねは、個人個人の中に生きる力を育み、心豊かな人間を形成していきます。

子どもたちが読書の楽しさに触れて、読書活動が生活の一部になるよう家庭、地域、学校、関係機関等が連携し、社会全体で子どもたちの読書活動推進に向けた取組を進めることが大切です。

しかし、子どもを取り巻く環境の変化に伴い、子どもの読書離れが進んでいることが指摘されています。

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、読書活動のための環境整備の必要性を示しました。

これを受け、千曲市においても子どもの読書活動を支援するため、平成19年度に策定した「千曲市総合計画」に沿って、平成22年に「第一次千曲市子ども読書活動推進計画」、平成27年に「第二次千曲市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んでまいりました。

「第二次千曲市子ども読書活動推進計画」では、7か月児を対象に絵本プレゼントを実施する「千曲市ブックスタート事業」に加え、平成29年度から小学校1年生を対象に図書を交付する「千曲市セカンドブック事業」を実施したほか、市内幼稚園・保育園児の図書館訪問、移動図書館による保育園・小学校への図書の貸出、読書活動を推進する学校等の現場での様々な取組、読み聞かせボランティアの方々の協力を得るなどして取り組んでまいりました。

技術革新をベースにした社会構造の変容が進む中で、子どもを取り巻く環境も大きく変化してきていることなどから、これまでの取組における成果や課題の検証を踏まえて、令和2年度からの「第三次千曲市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

本計画では、これまでの取組を継続するとともに、新たに家族全員が子どもの読書活動に関わる普及と啓発をしてまいります。

今後も読書環境の充実及び関係機関との連携をしつつ更なる読書活動の推進に取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画書の策定にあたり、第三次千曲市子ども読書活動推進計画策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただきました多くの皆様に、心から感謝を申し上げます。

令和2年4月

千曲市教育委員会

第三次千曲市子ども読書活動推進計画

目 次

第1章 推進計画策定の基本的な考え方

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の目的	1
3	計画の対象	1
4	計画の期間	1

第2章 基本方針

1	めざす子ども像	2
2	目標	2
3	基本方針	2
4	数値目標	2

第3章 子ども読書活動推進の取組

1	家庭における読書活動の推進	4
2	地域における読書活動の推進	5
3	幼稚園・保育園、学校における読書活動の推進	
	(1) 幼稚園・保育園における取組	8
	(2) 学校における取組	9

第4章 子ども読書活動推進体制の整備

家庭、地域、学校等の施設、ボランティア団体等が

連携・協力して行う取組の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

資料編

(平成27年度～令和元年度の取組について、令和元年9月に行った

各施設への調査及びアンケート結果1～8)・・・・・・・・ 14

1 地域における取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

市立図書館・公民館、児童館・児童センター、子育て支援センター

2 幼稚園・保育園における取組・・・・・・・・ 18

3 学校における取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

4 学校・市立図書館における貸出数等の状況・・・・・・・・ 28

5 千曲市ブックスタート事業の状況・・・・・・・・ 30

6 千曲市セカンドブック事業の状況・・・・・・・・ 30

7 千曲市ブックスタート事業に係るアンケート調査結果・・・ 31

8 千曲市セカンドブック事業に係るアンケート調査結果・・・ 32

千曲市子ども読書活動推進計画策定委員会要領・・・・・・・・ 34

策定までの主な経過・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

第三次千曲市子ども読書活動推進計画策定委員名簿・・・ 36

子どもの読書活動の推進に関する法律・・・・・・・・ 37

第1章 推進計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

読書は、豊かな感性と想像力を育み心の成長を促すために大きな役割を果たす、欠くことができない活動です。

しかし多様化する社会情勢の中で、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。テレビやパソコンだけでなく、携帯ゲーム機器やスマートフォン・タブレットなどの情報媒体が急速に発達し普及した反面、読書に親しむ機会は減少する傾向にあります。

子どもの読書活動の推進には、保護者だけではなく、各施設や地域が協力し、社会全体で取り組むことが重要であると再認識しました。

今回、第二次計画が令和元年度で満了となることから、第二次計画の基本的な考え方を引き継ぐとともに、明らかになった課題を踏まえ、子どもを取り巻く環境の変化に即した内容とするため、「第三次千曲市子ども読書活動推進計画」を策定いたします。

2 計画の目的

子どもが自ら読書に親しみ、継続して読書を楽しむとともに、心を豊かにすることができるよう、家庭、地域、学校等など社会全体で、子どもの読書活動を推進することを目的とします。

3 計画の対象

この計画は、0歳から18歳までを対象とします。

4 計画の期間

令和2年度から6年度までの5年間を本計画の期間とします。ただし、必要に応じて計画の見直しを行います。

第2章 基本方針

1 めざす子ども像

- (1) 進んで読書に親しむ子ども
- (2) 継続して読書を楽しむ子ども
- (3) 読書を通して心豊かに成長する子ども

2 目標

- (1) 乳幼児期から大人に成長するまでの継続した読書活動の推進
- (2) 子ども読書活動の社会全体での取組
- (3) 子ども読書環境の整備・充実

3 基本方針

- (1) 家庭、地域、学校等における読書活動の推進
- (2) 子どもの成長に即した読書活動の推進
- (3) 子どもが進んで読書をしようとする読書環境の整備・充実
- (4) 家庭、地域、学校等が連携した子ども読書活動の取組の推進

4 数値目標

- (1) 小学校9校児童の読書実績値及び数値目標（学校図書館における貸出冊数）

指標項目	平成26年～30年実績値	令和2年～6年数値目標
児童の読書数	1人当たり125冊	1人当たり131冊

※備考：第二次計画（26年～30年）実績値は5年間における9校の読書冊数の平均値から1人当たりの読書冊数を求めた数値

第三次計画（令和2年～6年）数値目標は実績値に5%を加算し求めた数値

- (2) 中学校5校生徒の読書実績値及び数値目標（学校図書館における貸出冊数）

指標項目	平成26年～30年実績値	令和2年～6年数値目標
生徒の読書数	1人当たり23冊	1人当たり26冊

※備考：第二次計画（26年～30年）実績値は5年間における5校の読書冊数の平均値から1人当たりの読書冊数を求めた数値

第三次計画（令和2年～6年）数値目標は実績値に15%を加算し求めた数値

- (3) 高等学校2校生徒の読書実績値及び数値目標（学校図書館における貸出冊数）

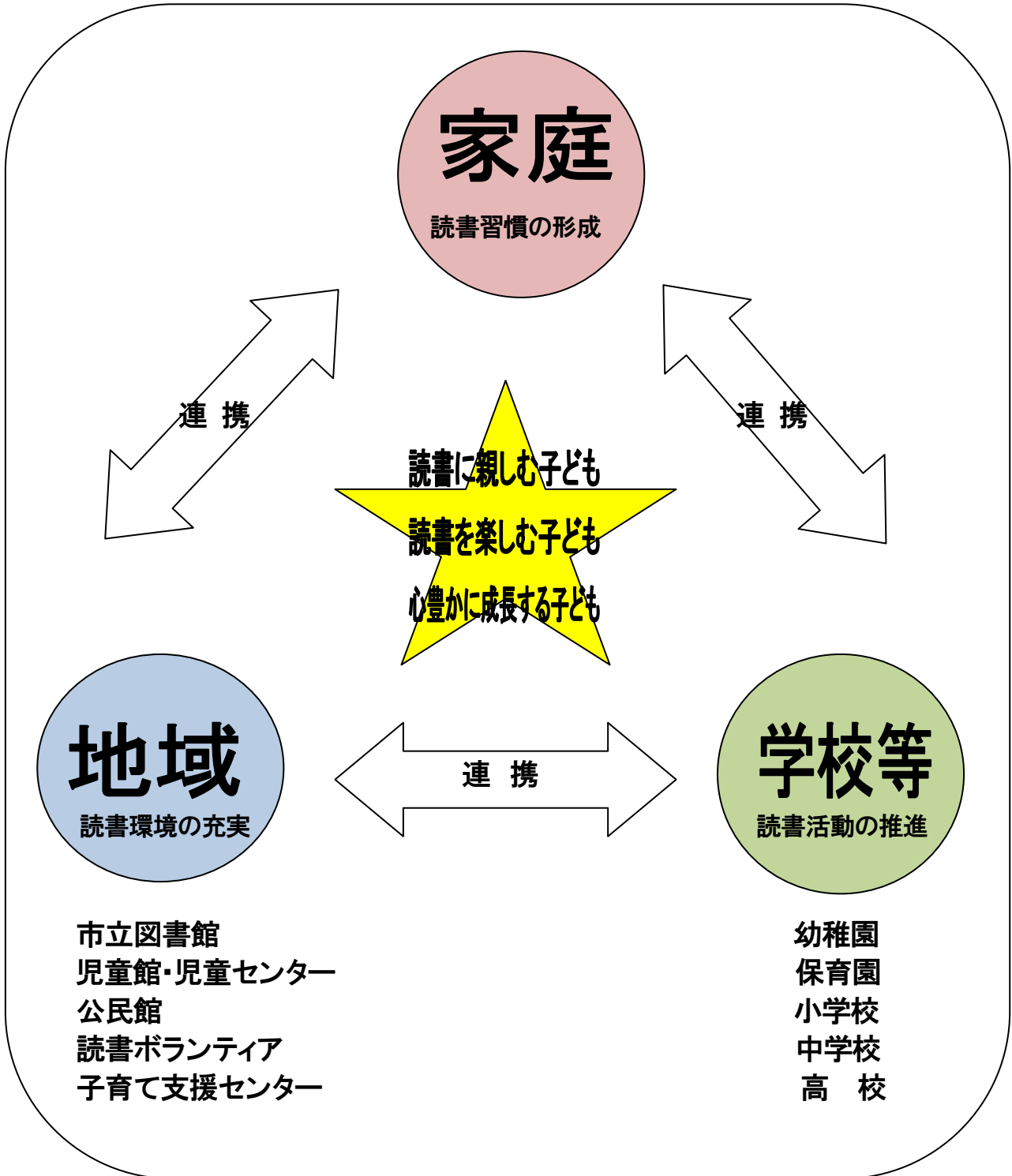
指標項目	平成26年～30年実績値	令和2年～6年数値目標
生徒の読書数	1人当たり7冊	1人当たり9冊

※備考：第二次計画（26年～30年）実績値は5年間における2校の読書冊数の平均値から1人当たりの読書冊数を求めた数値

第三次計画（令和2年～6年）数値目標は実績値に30%を加算し求めた数値

千曲市子ども読書活動推進計画

豊かな感性と想像力を育む



第3章 子ども読書活動推進の取組

1 家庭における読書活動の推進

【現状と課題】

市立図書館、幼稚園・保育園、学校では、読書環境を整備し、図書の貸出や読み聞かせの機会を増やす等、家庭での読書活動の支援をしています。また、図書館だよりや学級通信等を通して、保護者に読書活動の重要性を啓発しています。しかし、家庭によって読書活動に対する意識の違いがみられます。

本への興味・関心を持たせる契機づくりとして、市では7か月を迎えた乳児と保護者へ絵本を贈る「千曲市ブックスタート事業」の周知を推進し、全ての家庭における親子での読み聞かせを支援します。更に、学童期以降も進んで読書に取り組めるよう、小学校1年生に市から図書を贈る「千曲市セカンドブック事業」の実施を継続し、読書活動を支援します。

今後は、多くの家庭で子どもの読書活動の重要性について理解を深め、子どもが進んで読書を行うよう読書環境を整え、親子読書を推進することが大切です。

【施策の方向】

幼い時期から本に触れ、読書の楽しさを体験させることで読書への興味と意欲を引き出す取組をし、乳幼児から高校生まで継続した家庭での読書活動を推進します。

【具体的な取組】

①乳児期からの読み聞かせの推進

年齢に応じた図書を整備・充実させ、家庭での読書活動を支援します。

また、市立図書館や子育て支援センター、読み聞かせボランティア等が行う「おはなし会」への参加を促し、家庭での読み聞かせ活動の推進を図ります。

②家庭での親子読書の推進

市立図書館、幼稚園・保育園、学校等が連携して、「親子読書タイム」や「ノーテレビタイム・ノーゲームタイム」などの呼び掛けをし、おすすめ本の紹介などをして読書に親しむ環境づくりを推進します。

小学校1年生に本を贈る「千曲市セカンドブック事業」を継続しながら、学童期以降の読書活動を支援します。

③読書活動の大切さについて、理解を深める活動の推進

市立図書館、幼稚園・保育園、学校、子育て支援センター等から保護者へ、読書の大切さについての理解を深めるための情報を発信し、家庭での読書環境づくりを支援します。

2 地域における読書活動の推進

【現状と課題】

市立図書館では、年齢に応じた図書を集集し、季節や課題に即した図書の提供をするなど、家庭や地域への読書活動を積極的に行っています。

また、市内5か所に貸出拠点を設け、移動図書館車による保育園や小学校への図書の貸出を行い、図書館遠隔地の利便性を図っています。さらに、「おはなし会」の開催など、読書の楽しさに触れる機会を提供しています。

家庭や地域における読書活動を支え更なる連携を推進するためには、図書館職員は積極的に研修に参加するなど研鑽を積み、効果的な取組を行っていくことが求められます。また、図書に限らず様々なメディアが続々と生まれている今日において、多様な情報媒体に通じた職員の育成も重要となってきます。

公民館等では、読み聞かせのための場所の提供や、市立図書館と協働して読書に関する催しを行うなど、地域における読書活動の推進に積極的に関わっています。

児童館・児童センターでは、「読書の時間」を日課の中に設けており、テレビ視聴の時間を読書へ変更し、また書棚を新調するなど、子どもの関心を誘うよう工夫を凝らした事業を行っています。読んだ本の感想を発表し合うなど、考えをまとめ人前で表現することで、自己肯定感を向上させ、コミュニケーション能力の向上につなげられるよう努めている館もあります。

一方で、読書が苦手な子どもは活字が多い本を敬遠しがちで、図鑑や迷路、絵が豊富な本を好む傾向があります。読書意欲を推進するような指導が今後の課題となります。

子育て支援センターにおいては、地域ボランティアや市立図書館の職員を受け入れ、読み聞かせの推進を図っています。子育て支援センターの職員も読み聞かせを積極的に行い、おすすめ本を提供するなど、工夫を行っています。

しかし、子育て支援センターを訪れる保護者には、読書活動に対する関心に差が見られます。乳児期からの読書に関する経験が、幼児期以降の読書への姿勢につながることを意識し、保護者の読書に関する経験値や考えの違いを受け止め、読み聞かせの大切さをどう伝えていくかが課題となります。

子どもの読書活動を推進するためには、地域全体で取り組むことが重要です。地域における読書活動は、子どもの読書活動を支え、より良い読書環境づくりをしていく上で大きな役割を担っています。各施設や読み聞かせボランティア、各種団体等がそれぞれの特色を活かした取組をさらに進めるとともに、連携を強化して地域の読書活動を支え、子ども読書活動の広報及び啓発を推進していくことが大切です。

【施策の方向】

全ての子どもたちが読書に親しみ、読書の楽しさに触れることができるよう、各施設や読み聞かせボランティア、各種団体等が連携し、継続して読書環境の充実や読書活動を推進します。

【具体的な取組】

① 子どもの成長に応じた図書や読書環境の充実及び情報提供活動の推進

乳児期から読書に親しむ環境づくりを支援するため、市立図書館では「千曲市ブック

スタート事業」を推進するとともに、各種事業の工夫や見直しを図ります。地域の各施設と連携し、乳児から高校生まで年齢や成長に即して対応できるよう、幅広く図書や事業を充実させ、いつでも、どこでも読書活動ができるよう環境整備を図ります。テーマブックや広報などでは適切な図書を紹介し、情報提供に努めます。

② 障がいを持つ子どものための環境整備及び図書の充実

様々な障がいを持つ子どもの特性に応じた環境整備と図書の充実を図り、市立図書館の利用を積極的に働きかけます。

③ 読み聞かせ活動及び読書活動の推進

市立図書館や読み聞かせボランティアが中心となり、各施設や家庭における読み聞かせ活動を推進します。また、乳幼児、幼稚園・保育園児、小学生、中学生、高校生までの継続した読書活動を推進します。

④ 読書ボランティアの育成及び地域人材の活用の推進

読書ボランティアなど、子どもの読書活動に関心を持つ人たちの活動への支援を行います。また、地域人材の活用を推進します。

⑤ 子どもの読書に関する啓発活動の推進

子どもの読書活動の大切さについて、地域の人たちの理解を深めるための情報発信や啓発活動を行い、子どもの読書環境の向上を図ります。

⑥ 読書活動推進イメージキャラクターの活用

読書活動を推進するためのイメージキャラクター「ちっくま」を、市立図書館の利用カードや、「千曲市セカンドブック事業」のパンフレットなど様々な場面で活用し、効果的で、親しみやすい読書活動の推進を図ります。



かおはあんずいろ。あかいほっぺに、きいろいおくち。頭にはえた緑の葉っぱは“知識の芽!”たくさん読んできれいなお花を咲かせてね。

千曲市子ども読書活動推進計画イメージキャラクター「ちっくま」



市立図書館のおはなし会（更埴図書館）



千曲市ブックスタート事業（更埴文化会館大会議室）



ちくまおはなしネットワーク主催のおはなしカーニバル(更埴文化会館小ホール)



クリスマスおはなし会（戸倉創造館）

3 幼稚園・保育園、学校における読書活動の推進

(1) 幼稚園・保育園における取組

【現状と課題】

幼稚園・保育園では、ほぼ毎日読み聞かせを行い、本との触れ合いは日常の一部となっています。保育士が成長や季節感を見極めて選書をし、適した本が手に取りやすい環境を構築しています。また、園が所有する本を貸し出して、自宅で親子が読み聞かせに親しむなど、家庭での読書活動を支援しています。

保育士は各研修に参加し、園内で情報を共有するなど積極的に学ぼうとしています。

園児たちは、読み聞かせによって情緒面が豊かになり、言葉を覚え、また本に掲載されていたことを試みるといった姿が見られるようになっていきます。

しかし、家庭によっては、読書への関心が薄く、読み聞かせの機会が少ない場合があります。読み聞かせの大切さや重要性について保護者や職員が理解と認識を一層深め、読み聞かせの充実を図ることが大切です。

【施策の方向】

読書の楽しさに触れ、自ら学び実践する姿勢を育むため、幼児期から継続して読み聞かせを行います。図書（絵本等）の充実や各施設間の図書の有効利用を図るとともに、読み聞かせボランティアと連携して読書活動を推進します。

【具体的な取組】

①読み聞かせの充実

読み聞かせをする時間を確保し、図書（絵本等）の有効利用、読み聞かせボランティアの活用等の工夫をし、読み聞かせの充実を図ります。

②図書の充実

園児の成長に応じた図書（絵本等）を整備し、充実を図ります。

③家庭での読み聞かせの推進

家庭における読書活動の重要性を保護者に働きかけるため、読み聞かせの大切さや良さを伝え、図書（絵本等）の紹介や貸出を行います。

④読書活動に関する職員研修の実施

読み聞かせの大切さについて、全職員が理解と認識を深めるとともに、魅力的な読み聞かせとなるよう職員研修の機会を設けます。



保育園児の図書館訪問（更埴西図書館）

(2) 学校における取組

【現状と課題】

小学校・中学校では、読書による豊かな人間性の育成、より良い学習・生活習慣等の定着を目指して、子どもの読書活動促進の取組を行っています。主な取組として、全校一斉読書、授業時間における読書時間の設定、学校図書館の利用促進活動、教員や学校司書による読み聞かせ等の活動を行っています。

各学校図書館は様々な工夫を凝らしており、特設・新刊コーナーの設置や日本十進分類法による本の配置に関する指導、学校司書が個別に読書相談に応じるといった一歩踏み込んだ取組を行っています。

担任と学校司書は子どもの読書記録を共有し、個々に応じた読書指導を行っています。その結果、読書が苦手な子どもが読書の時間には取り組めるようになった、自力で必要な資料を探し出すことができるようになったといった成果が現れています。

しかし、絵本から物語への移行が難しい子どももいます。また、子どもに読ませたい本と子どもの読みたい本とのギャップがあること、テレビやゲームに時間を費やし本に目が向かない子どももいるなど、子どもの意識改革を行うことや家庭と連携した取組が課題となります。

さらに、日本語以外の文化に親しんで成長した子どもたちへの配慮も重要です。学校図書館だけではなく、市立図書館でも各国の言語で書かれた絵本・物語・学習用図書の収集に努めるといった取組が必要となります。

子どもの読書への興味・関心を継続して持たせること、また子どもの成長に応じた読書活動ができるような取組をしていくことが大切です。

【施策の方向】

興味や関心を持って読書に親しみ、進んで読書活動を行う子どもを育てるために、読書時間の確保及び子どもの成長に応じた読書指導や図書館環境の整備等を行い、学校全体で読書活動に取り組みます。

【具体的な取組】

◎学校全体の取組

子どもたちが進んで読書に親しみ、継続した読書活動が行えるよう、学校全体で計画的・組織的に読書活動に取り組みます。

①継続した読書時間の確保

全校一斉読書の時間を日課表の中に、また授業時間内における読書活動を時間割の中に位置づけるなど、学校全体で継続的な読書活動に取り組みます。

②読書行事の取組

「読書旬間」「読書週間」等の行事に加え、読書への関心を深める企画やおすすめ本リストの整備などを行い、集中的な読書指導の機会を通して、より良い読書習慣を身に付け、進んで読書に親しむ子どもの育成を図ります。

③読み聞かせやブックトーク等読書活動の推進

学校職員や地域ボランティアによる読み聞かせ、本を紹介するブックトークなどの活動を通して、多くの子どもたちに読書への興味や関心を持たせ、読書の楽しさに触れ

ることができるよう、機会を提供します。

④授業での取組の推進

子どもたちが様々な物語に触れたり調べ学習を行ったりするなど、多様な読書活動を通して読書の楽しさや新たな知識を習得する喜びを感じ取り、自己の読書活動を広め高めていけるよう、授業時間における読書指導の充実を図ります。

◎学校図書館の取組

学校図書館ではより工夫した図書館運営や活動を行い、子どもの読書活動の向上を図ります。

①図書を整備・充実

子どもの様々な興味・関心に応える魅力的な本や、学年・課題に応じた本を可能なかぎり提供できるよう、図書の収集、整備、充実を図ります。

②読書相談への対応の充実

個々の子どもからの本の検索や読書相談等に気軽に応じ、きめ細かな助言ができるよう、学校司書による支援を推進します。

③図書館の環境整備推進

新刊図書・推薦図書・課題図書やテーマコーナーの設置、読書情報の提示等の工夫をこらし、子どもたちにとって魅力ある図書館であるよう読書環境づくりを推進します。

④家庭との連携の推進

保護者に読書の大切さや良さを伝え、親子読書の呼びかけや本の紹介を行うなど、学校と保護者が連携して、家庭における子どもの読書環境づくりを推進します。

⑤学校司書の情報育成

様々な形態のメディアが絶えず生み出されている今日において、図書に限らず多様な情報媒体に精通した司書の育成を図ります。

⑥読書ボランティアとの連携

司書教諭、学校司書を中心とした全校体制のもと、読書ボランティアと連携・協力しながら、学校図書館の充実に取り組みます。



市立図書館職員が小学校に出張して行う図書の貸出（東小学校）



移動図書館「さとちゃん号」による出張おはなし会（上山田小学校）

第4章 子ども読書活動推進体制の整備

【現状と課題】

現在、幼稚園・保育園、学校及び市立図書館等が、図書の貸出や読み聞かせ、一斉読書等の活動を行うことにより、多くの子どもたちが読書に親しんでいます。

また、定期的に通信等を発行し、保護者や地域の人に子どもの成長に即した図書を紹介するとともに、親子読書の奨励や子どもの読書の大切さについての啓発をしています。

一方、スマートフォンやインターネットの普及等により家庭の生活環境が変わり、保護者の読書活動に対する意識の低下、子どもたちにおいても読書への興味・関心の希薄化、読書時間の減少など、読書活動に大きな変化が見られます。

このような中であって、読書活動を維持し、さらに活発にしていくためには、これまで以上に子どもたちの実態や実情に即した新たな取組が必要になります。

そのために、家庭、地域、各施設や団体等の連携・協力をさらに強化して読書活動に取り組み、子どもたちの読書活動の効果的な促進を図っていくことが大切です。

【施策の方向】

市全体で、子どもたちの読書活動を効果的に推進していくために、家庭、地域、各施設や団体などが目標を共有し、目標達成のために連携・協力をさらに強化して取り組みます。

また、子どもの読書活動の重要性について、関係者はもとより、市民全体の意識向上を図ります。併せて各施設が所蔵する図書の有効活用を図ります。

【具体的な取組】

①家庭・地域・各施設・各団体等の連携の推進

家庭や地域における読書活動が円滑に進められるよう、各施設の職員や地域ボランティアなどは読書活動に対する知識を深め、読み聞かせや図書の提供などで支援を行います。

市立図書館では、「千曲市ブックスタート事業」による乳児と保護者への支援を始め、保育園へ移動図書館車で定期的に巡回し、本の貸出や読み聞かせを行うことで、幼児期から読書に親しむ環境を提供します。また、児童館・児童センターや各学校に対しては、施設職員や学校司書との情報交換を密にすることで、適切な図書の貸出に努めるほか、各施設からの読書相談に応じるなど、先に挙げた数値目標が達成できるよう取り組みます。

②子ども読書活動促進のための情報伝達の推進

子どもの成長に即した図書を紹介するため、定期的な通信の発行するほか、各施設や団体等の取組状況を、市報やホームページ等を活用して保護者や地域の人に伝え、子どもの読書活動を地域全体で支えます。

一方で、保護者によって読書への意識に差があるため、取組が困難な家庭に対して、地域の施設がどのような支援を行えるか、効果的な推進を探ることが課題です。

③「ブックネットちくま」の有効利用

市立図書館と学校図書館を同一システムでネットワーク構築している「ブックネット

ちくま」を活用し、子どもが求める図書や学校の授業で使用する図書を、全館が協力して提供するよう努めます。

各館からのリクエストを受けて貸出を行うだけでなく、おすすめ本の発信や、共通する教科で使用する図書を複数セット用意するなど、さらに踏み込んだシステム活用を目指します。

④図書の貸出・返却に関する利便性の向上

市立図書館が市内5カ所に設けている貸出拠点を積極的にPRするほか、移動図書館車による遠隔地への貸出を行うなど、利便性を高める工夫を継続します。

学校図書館とも「ブックネットちくま」で結ばれている強みを活かし、定期的な配送を行うことにより、教員や学校司書が求める資料を迅速に提供できるよう努めます。

⑤図書館関係職員等の資質向上

市立図書館職員など各施設の職員や地域ボランティア等は、積極的に読み聞かせなどの読書活動を行うとともに、研修に参加するなど研鑽に努めます。

また、図書に限らず多様な情報媒体に通じた図書館職員の育成を図り、家庭や地域に必要な読書活動に関する情報発信ができるよう、資質向上を目指します。

⑥障がいを持つ子どもたちのための環境整備

様々な障がいを持つ子どもたちに対応するため、子どもの特性に応じた図書の充実を図るとともに、各施設の職員や地域ボランティア等は読書に関する知識を深め、研鑽に努めます。



市立図書館と公民館の協働企画「えほん de あそぼう！」（戸倉創造館）

資 料 編

平成 27 年度～令和元年度の取組について
令和元年 9 月に行った各施設への調査及びアンケート結果について

1	地域における取組	14
	市立図書館・公民館、児童館・児童センター、子育て支援センター	
2	幼稚園・保育園における取組	18
3	学校における取組	21
4	学校・市立図書館における貸出数等の状況 . . .	28
5	千曲市ブックスタート事業の状況	30
6	千曲市セカンドブック事業の状況	30
7	千曲市ブックスタート事業に係るアンケート調査結果	31
8	千曲市セカンドブック事業に係るアンケート調査結果	32

＜資料編＞

1 地域における取組

○子どもの成長に応じた図書や読書環境の充実、情報提供活動の推進

＜市立図書館・公民館等＞

- ・年齢に応じた図書の収集や充実に努め、市報や図書館だより等で広報しています。
- ・学校から依頼される貸借図書を想定し、複本を購入するなど充実に努めています。
- ・課題図書やテーマ図書コーナーを設置し、読書への関心を誘うよう努めています。
- ・市報や図書館だより、生涯学習情報紙、ケーブルテレビや有線放送等を通して新刊本・推薦本の紹介を行っています。
- ・小学校や児童館・児童センターを訪問し、市立図書館の利用方法や図書を紹介し、利用を促進しています。
- ・中学生や高校生向けの図書も積極的に収集し、コーナーを設けて紹介を行っています。
- ・おはなし会やブックスタート事業の中で、保護者に読み聞かせの重要性について啓発しています。
- ・子育て支援センターを定期的に訪問し、読み聞かせだけではなく育児や生活に関する様々な図書を紹介し、市立図書館の利用促進に努めています。

＜児童館・児童センター＞

- ・図書室あるいは集会室等に本を置き、新しく購入したり市立図書館から借りたりし、読書環境の充実に力を入れています。
- ・児童にとって魅力ある場所となるよう書棚を新調し、絵本の配置等を工夫しています。

○障がいを持つ子どものための環境整備・図書の充実

＜市立図書館・公民館等＞

- ・施設等へ団体貸出（最大 100 冊、最長 1 か月間の利用が可能）をして支援を行っています。
- ・点字図書や録音図書等を購入するとともに、専門図書館への相談窓口体制をとっています。
- ・稲荷山養護学校等、特別支援学校の生徒の図書館利用を積極的に受け入れています。
- ・特別支援学校の生徒が図書館を利用する際は、適切な手助けを心掛けています。

○読み聞かせ活動・読書活動の推進

＜市立図書館・公民館等＞

- ・図書館まつり、子どものためのおはなし会、ブックスタート事業等では、読み聞かせボランティアと連携して開催しています。
- ・子育て支援センターから依頼されたおはなし会に協力し、読み聞かせだけではなく、育児書や実用図書の紹介・提供を行っています。
- ・園児や小学生の図書館訪問、移動図書館車による学校への訪問、ブックスタート事業など、読み聞かせや図書の紹介を年間通じて行っているほか、親子の触れ合いを促すベビーマッサージ教室も開催するなど、様々な事業により、図書館が果たす役割や可能性を広げるよう努めています。
- ・公民館は、読み聞かせの機会や場所の提供を行うほか、市立図書館との協働企画を行っています。

＜児童館・児童センター＞

- ・ 毎日の日課の中に、読書や読み聞かせの時間を設けています。
- ・ 地域ボランティアによる読み聞かせやお話会を実施しています。
- ・ 市立図書館職員や移動図書館車の訪問を受け入れ、読み聞かせの機会を設けています。

＜子育て支援センター＞

- ・ 絵本の貸出を毎日実施しています。
- ・ 地域ボランティアを受け入れ、定期的に読み聞かせを実施しています。
- ・ 毎月の誕生日会では、職員が大型紙芝居やエプロンシアター（舞台に見立てたエプロンにマジックテープを縫い付け、ポケットから人形を取り出してエプロンに貼り付けながら演じる人形劇）・パネルシアター（起毛した布地を貼ったパネルに、不織布で作った人形や背景の絵を貼ったり外したりしながら演じる人形劇）を上演しています。
- ・ 絵本コンサートの開催を行っています。
- ・ 市立図書館職員による絵本読み聞かせや育児書・実用図書の紹介を、年間通して実施しています。

○読書ボランティアの育成と地域の人材の活用の推進

＜市立図書館・公民館等＞

- ・ 読み聞かせボランティアの活動支援を行っています。
- ・ 図書館事業を開催する際は、読み聞かせボランティアと連携するなど地域人材の活用を行っています。
- ・ 図書館所蔵の大型紙芝居やエプロンシアター・パネルシアター等のリストを整備し、情報提供をしています。

○子どもの読書に関する啓発活動の推進

＜市立図書館・公民館等＞

- ・ 市報、図書館だより等を通して情報発信しています。
- ・ ブックスタート事業では、読書アドバイザーに協力してもらい、事業内容の充実を図っています。
- ・ 読み聞かせや図書の紹介とともに、ベビーマッサージの手法を体験する事業を開催するなど、親子の触れ合いを啓発する機会を提供しています。

○図書の貸出・返却に関する利便性の向上

＜市立図書館・公民館等＞

- ・ 一部の公民館や、屋代駅市民ギャラリーに、図書館システムを搭載したパソコンや書棚を設置し、公民館利用者や電車通勤・通学者、周辺住民への貸出等に関する利便性を高めています。
- ・ 移動図書館車を利用して、地域や小学校に出向いて貸出を行うなど、図書館遠隔地の利便性の向上に努めています。

○図書館関係職員等の資質向上

＜市立図書館・公民館等＞

- ・ 図書館職員専門研修や、市の情報セキュリティ研修会等に積極的に参加し、読書活動

<資料編>

に関する知識のみならず、多様な情報媒体に対応できるよう、職員の資質向上を図っています。

- ・公共図書館の職員は定期的に打ち合わせを行い、職員間の共通認識を高めています。

○強化や追加した事業

<市立図書館・公民館等>

- ・年齢に沿ったさまざまな分野の絵本や図書を充実させ、テーマブックコーナーを展開して紹介し、また図書館だよりや市報への掲載のほか、ケーブルテレビによる広報活動を追加しました。
- ・読み聞かせボランティアによる読書活動が各施設で積極的に行われるよう支援し、図書だけではなく、物品（紙芝居専用舞台など）も提供しました。
- ・移動図書館車を利用し、保育園や小学校での図書の貸出を行い、また児童館・児童センターも訪れ、市立図書館の利用方法を説明するなど、図書利用を促進しています。
- ・幼稚園・保育園児や小学生、または特別支援学校の生徒の図書館への訪問を計画し、積極的に受け入れました。
- ・ブックスタート事業では、読書アドバイザーの協力を仰ぎ、事業内容の充実に努めました。

<児童館・児童センター>

- ・日々の日課の中で、読書タイムを必ず設けるように努めました。
- ・放課後はビデオの視聴が中心でしたが、令和元年度より週1回読書の日を設けました。
- ・地域ボランティアによる読み聞かせを定期的に受け入れています。
- ・新しい書棚を購入して市立図書館から借りた本を収納、子どもたちの目につきやすいよう環境を整備しました。
- ・子どもへアンケートを行い、リクエストの多い本を購入するようにしています。
- ・長期休み中に、市立図書館職員の来館を受け入れ、絵本の読み聞かせや移動図書館車の仕組みについて紹介してもらい、市立図書館の利用を子どもに促しました。

<子育て支援センター>

- ・平成30年度より、市立図書館の職員を受け入れ、読み聞かせのほか育児書や実用図書の紹介をしてもらい、子育て世代への支援を心掛けています。
- ・家庭で使わなくなった絵本を提供してもらい、子どもの年齢に沿った本を持ち帰ることができるようにしました。

○成果・課題

<市立図書館・公民館等>

- ・職員が積極的に研修参加することで、共通認識や資質が向上してきています。
- ・資質が向上した結果、おはなし会、ブックスタート事業等の行事内容が充実してきています。
- ・図書館の利用を更に促すため、蔵書、貸出方法の見直しや各種事業の工夫、PRの強化が必要です。
- ・多様化する情報社会に対応できるよう、図書のみならず様々な媒体に通じた職員の育成を図ることが重要です。

<児童館・児童センター>

- ・児童の代表に読み聞かせを行わせたところ、人前で発表する自信が身につくようになりました。
- ・読み聞かせ後は感想を発表し合います。自分の考えを頭の中でまとめ言語表現する経験をつみながら、コミュニケーション能力を高められるよう支援していきたいです。
- ・読み聞かせを行った児童は、何度も練習し本番に臨むため最高の発表ができ達成感や満足感を得ています。ほかの児童も「今度は自分が」と積極的に取り組んでいます。
- ・週1回の「読書の日」の回数を増やしてほしいと望む声がありました。
- ・市立図書館から借りて設置してある本を、積極的に利用している姿が見られました。
- ・移動図書館車が来館し、これまで知らなかった本にも触れることで市立図書館への関心も高まったようです。
- ・読書にすんなり向き合える子どもと、そうでない子どもの差が大きいと感じます。
- ・読書が苦手な子どもは、図鑑や迷路、絵が豊富な本しか手に取りません。活字ばかりの図書は敬遠しがちであり、そのような子どもへの読書指導が課題です。

<子育て支援センター>

- ・0～3歳までの子どもと保護者の、読書に対する経験や考え方に差を感じました。絵本を読み聞かせしていても子どもが飽きてしまう場合や、母親同士がおしゃべりをして内容が聞こえないということがありました。
- ・読み聞かせをしてもらったという経験が増えると、静かに聞けるようになるのではと感じました。
- ・「おはなし」というと他の行事より参加者が少なくなります。読み聞かせの大切さを伝え、参加者が増えるようにしたいと思います。

<資料編>

2 幼稚園・保育園における取組

○読み聞かせの充実

- ・活動前や午睡前後、降園前など、園生活の中に読み聞かせを位置づけています。
- ・読み聞かせの際は、年齢や季節に沿った絵本を選ぶことで、より興味の幅が広がるよう工夫しています。
- ・各学年の保育室には絵本棚を設置し、自由に本を手にとれる環境を作っています。
- ・年長児には『エルマーのぼうけん』等、長いお話の読み聞かせを取り入れています。
- ・地域のボランティアを積極的に招き、読み聞かせをしてもらっています。
- ・中学生による読み聞かせを実施しています（年1回程度）。
- ・年長組や年中組は市立図書館への訪問を実施し、様々な資料との出会いの機会としています。

○図書の実充実

- ・年齢に沿い、絵本から長いお話まで、幅広い図書を楽しめるよう揃えています。
- ・季節にあった本や図鑑を、職員が意識して入れ替えを行っています。
- ・出版社のおすすめや新刊などの情報を、常に収集しています。
- ・クラスごとに月刊絵本（幼稚園・保育園に通う子どもに向けて、成長や季節、行事に合わせた内容で構成され、自然や社会の仕組み、物語などで子どもの好奇心や想像力を育むことを目的に毎月発刊される絵本）を購入し、家庭でも絵本に触れ合う機会を設けています。
- ・本を寄贈してもらっており、専用コーナーを設け貸し出しています。
- ・大型絵本や紙芝居、子どものリクエストも取り入れ、蔵書の充実を図っています。
- ・保育士の推薦本をコメント付きで展示するなど、関心を引く工夫を行っています。
- ・必要に応じて本の修理・整備も行っています。
- ・講演会に参加するなど、良質な絵本に関する勉強を続けています。
- ・市立図書館も併用し、様々な資料に触れる機会を設けています。

○家庭での読み聞かせの推進

- ・入園時や園便り等で、保護者に読み聞かせの大切さを伝えています。
- ・月刊絵本の斡旋を0歳児から開始し、家庭における読書を勧めています。
- ・月刊絵本を購入しない家庭の子どもへの配慮として、発刊された絵本を園で読む対応を行っています。
- ・絵本を通して親子の関わりを持つため、「絵本カード」を作り配布、週に一度園の本を貸し出して家庭での読み聞かせを促しています。
- ・定期的に「絵本だより」を発行し、学年・クラスで人気の絵本を紹介しています。
- ・移動図書館車の巡回場所になっているので、巡回日などを保護者に知らせ、利用を促しています。
- ・誕生会や参観日など、保護者が来園する日に読み聞かせを行っています。

○読書活動に関する職員研修の実施

- ・保護者の関心を引くような関わり方・読み聞かせを子どもの学習意欲につなげる手法を学ぶため、各種研修・講演会に積極的に参加しています。

<資料編>

- ・保育士が様々な研修会に参加し、成果を職場で報告することで情報を共有しています。
- ・職員同士で読み聞かせを行いアドバイスしあうなど、園内での研修も欠かさず行っています。
- ・月刊絵本を選定するとき、年齢にあった本というだけでなく、制作の過程や狙いとすることを出版関係者から聞き、選定の参考としています。

○図書館関係職員等の資質向上

- ・研修への積極的な参加をし、声のトーンや出し方を学び研鑽を積んでいます。
- ・絵本作家の講演に参加し、製作過程や決まりごと、作者の考え方などを、選書する上での参考としています。
- ・年長組の市立図書館訪問時、司書の選書や読み聞かせを保育士が参考としています。
- ・絵本に興味がある職員は、図書館司書の資格を取得しました。

○強化・追加した事業

- ・未満児も、絵本だけではなく物語の読み聞かせを取り入れました。
- ・物語の読み聞かせは、子どもたちの中でかなりイメージが膨らむようで、午睡中の夢にお話の世界が登場したなど、個々の想いが広がっていると感じました。
- ・卒園・進級プレゼントに、絵本を贈るようにしています。
- ・参観日で子どもたちが好きな絵本を紹介し、保護者にも読み聞かせを行っています。
- ・園開放時に未就園児にも読み聞かせをし、絵本と触れ合う機会を設けています。
- ・親子の触れ合いや豊かな感性の育成を促すため、「絵本カード」を実施しています。
- ・絵本や紙芝居などの随時購入を行っています（年平均10冊～15冊）。
- ・地域団体からの絵本の寄贈を受け入れています。
- ・担任がおすすめの絵本を紹介するコーナーを設けるなど、利用促進に努めています。

○成果・課題点

- ・本と触れ合う機会を増やした結果、動植物や虫の名前などを調べたり、絵本に載っていたことを試したりする姿が見られるようになりました。
- ・読み聞かせを通じて、友達的心情を理解しようとする姿が出てきています。
- ・園の本を自宅に持ち帰る貸出図書を楽しみにしています。
- ・物語の読み聞かせにより聴覚から情報を得る機会を増やしたところ、想像力が豊かになりました。
- ・絵本の読み聞かせをすることで、子どもたちの集中力が高まってきたと感じます。
- ・想像力が豊かになり、言葉の獲得、遊びの広がり、発表会での表現の仕方やアイデアに成長が見られました。
- ・大好きな一冊に出会えたという子どもが出てきました。
- ・未満児でも絵本の内容は理解していて、気に入った本を自ら選び、繰り返し読み聞かせをせがむようになりました。
- ・絵本を通じて親子の時間を過ごすことが、気持ちの安定や集中力につながっていると感じます。
- ・保護者が絵本の世界や親子の関わりについて気づく、良い機会となりました。

<資料編>

- ・自らが読み聞かせをしてもらった経験が少ない保護者は読書への関心が薄く、参観日での読み聞かせでもおしゃべりをしていたことが残念でした。
- ・まず保護者に読み聞かせの心地よさ、重要さを知ってもらうことが課題です。
- ・多様化する家庭の事情で、すべての家庭が園の取組に協力的とは限りません。様々な事情で、絵本を読んでもらえなかった子に対するケアが課題となります。
- ・読み聞かせは「字が読めるようになる」といった目先のことにとらわれるのではなく、「心の安定・栄養」となることを、繰り返し保護者に伝えていきたいと思います。

3 学校における取組

◎学校全体の取組

○継続をした読書時間の確保

<小学校>

- ・各校各学年ともに、週に一度は必ず読書の時間を設け、学校司書や教員の読み聞かせもしています。
- ・家庭における読書の推進を行っています（読書カードへの記録）。
- ・朝読書を日課として学校全体で取り組んでいます。

<中学校>

- ・各校各学年ともに、週に一度は必ず読書の時間を設け、学校司書や教員の読み聞かせもしています。
- ・朝読書を日課として学校全体で取り組んでいます。

○読書行事の取り組み

<小学校>

- ・朝の一斉読書を行っています。
- ・図書委員会による紙芝居の上演や読み聞かせを、実施しています。
- ・地域ボランティアによる読み聞かせを、積極的に受け入れています。
- ・教員おすすめ本をポスターに仕立て、掲示して利用を促しています。
- ・様々な企画を実施しています。一例として、書名しりとり、POP コンテスト、怖い話の朗読会、プラス1冊貸出サービス、人気本の調査・展示を行っています。
- ・展示に使用する本が自校にない場合は、ブックネットちくまを経由し、他校から取り寄せるなど、工夫に努めています。

<中学校>

- ・朝の一斉読書を行っています。
- ・地域ボランティアによる読み聞かせを、積極的に受け入れています。
- ・様々な企画を実施しています。一例として、POP の作成や展示、人気本の調査・展示等を行っています。
- ・展示に使用する本が自校にない場合は、ブックネットちくまを経由し、他校から取り寄せるなど、工夫に努めています。
- ・読書週間や旬間中に多読者となった生徒には、図書委員が手作りのしおりをプレゼントして、読書意欲の推進に努めています。

<高校>

- ・朝の一斉読書を行っています。
- ・図書を1回借りるごとに景品がもらえる「図書くじ」を実施しました。
- ・不要となった雑誌を頒布する「古雑誌市」を開きました。

○読み聞かせやブックトーク等読書活動の推進

<小学校>

- ・地域ボランティアによる定期的な読み聞かせを、低学年中心に行っています。
- ・各担任や学校司書は、随時読み聞かせを行っています。

＜資料編＞

- ・読み聞かせボランティアやPTAを積極的に活用しています。

＜中学校＞

- ・地域ボランティアが読み聞かせに来校した際は、案内や読み聞かせ時の司会を図書委員が務めています。
- ・地域ボランティアへの学校図書館の蔵書の貸出を行っています。

○授業での取組の推進（読書指導）

＜小学校＞

- ・おすすめ本や課題図書の紹介をする際はブックトークを取り入れ、読むきっかけを作っています。
- ・授業のはじめに学校司書が読み聞かせをし、授業として読書に取り組むことで、どのクラスも集中するようになったと感じます。
- ・辞書・辞典の使い方、自分が求める情報の探し方を学校図書館で学び、学習に活かしています。
- ・国語だけではなく、社会・理科の時間等でも学校図書館を活用しています。
- ・各児童が読んでいる本のリストを読書記録としてファイルしています。担任による読書傾向の把握に利用しています。
- ・国語の教科書に掲載されている本や、著者の他作品を展示・貸出をしています。
- ・各児童のおすすめ本を紹介するカードを作り、発表を行います。カードは学校図書館内に掲示し、ほかの児童が参考としています。
- ・授業参観でも学校図書館を活用しています。
- ・英語では、海外の英語絵本を紹介しています。

＜中学校＞

- ・自習時間に、個人のレファレンス（読書に関する調査・相談）を受け付けています。
- ・インターネット上の情報と、図書から得る情報との使い分けに関する指導を行っています。
- ・一人一国調査（社会科）や読書カード・本の帯作成（国語）といった、図書館の資料を使用して学習を進める取組を行っています。

＜高校＞

- ・生徒たちの読書傾向として、文学やライトノベルの貸出が多く、次いでマンガや絵本、自然科学、社会科学といった分野が利用されていることを把握しています。

○強化や追加した事業

＜小学校＞

- ・「おすすめ本100冊」リストを作成し、読んだ書名に色を塗るカードを渡しています。
- ・「おすすめ本100冊」を完読した児童には、校長より「完読証（総称）」が手渡されるという事業を実施しました。
- ・歴史の学習と関連させて、『古事記』の絵本や紙芝居を読み聞かせしました。
- ・読み聞かせのあと、本を選び（借り換えは自由）、一人で集中して読書をする流れを作り定着させました。
- ・ひとりで読書をする時間のスタートや終了の合図を、子どもたち自身に任せることを実践しました。

<中学校>

- ・市内の図書館から多くの資料を収集し、授業が充実するよう努めました。
- ・校舎の新築に伴い、図書館資料の見直しを図り、カラーページが豊富な資料を新たに購入し、授業に利用しました。
- ・予め学習内容を打ち合わせることで、授業に即した資料を購入・提供できるよう、教科担任との連携を深めました。
- ・4月に図書館オリエンテーションの時間を設け、調べ学習のやり方を指導するようにしました。

<高校>

- ・文化祭における展示発表のテーマを「大切なことは絵本が教えてくれる！！高校生がおススメする絵本20選」とし、好きな絵本3冊を問うアンケートを実施しました。
- ・文化祭では、古本や雑貨の市を開いたほか、七夕の飾りつけなども行いました。

○成果・課題点

<小学校>

- ・読書記録があることで、担任を通じて読書指導がなされ、読む本の質が向上しました。
- ・読書の時間を確保することで、じっくりと本に向き合うことができ、授業内における集中力につながっていると感じます。
- ・「おすすりめ本100冊」の完読を目指し、がんばっている子どもがいます。
- ・子どもたち自身で、読書の時間の開始や終了を決めるという体験をすることで、読書への意識が高まり、時間の使い方にメリハリがつけました。
- ・調べ学習をしていく中で、様々なジャンルに関心を持つ児童が増えてきました。
- ・「まずは百科事典を開く」といった、調べ学習の手順が身につくようになりました。
- ・集中して調べ学習に取り組み、子ども自身で課題や悩みを見つけることができるようになりました。
- ・市立図書館へ関心を持ち、地域の図書館に出かけるようになった子どもが出てきました。
- ・保護者が忙しく、家庭での読書活動に関する意識に差があります。保護者への効果的な働きかけ方を考える必要があります。

<中学校>

- ・休み時間に、学校図書館へ来館する生徒が増えてきました。
- ・図書館の資料を使用して調べるという方法を浸透させたことで、求める情報がどんな資料に掲載されているかを、自分で判断できるようになってきました。
- ・資料の中から、適切な情報を選び取る力が弱い子どもが見られます。資料選びで授業時間が終わる、見当違いな本を選んでしまうといった姿があり、指導が必要です。
- ・図書の並びや法則、学校司書への調査相談など、図書館利用の基礎を指導することが課題であると感じます。

◎学校図書館の取組

○図書の整備・充実

<小学校>

- ・選書は、教科書の推奨や出版社のおすすりめを参考としているほか、教員の視点から選

<資料編>

んだ図書を購入し、多角的に収集しています。

- ・希望図書のアンケートを実施し、子どもの声を選書に反映させています。
- ・市立図書館の蔵書構成や展示も選書の参考とし、書店での現物による精査も行っています。
- ・調べ学習への対応が可能なよう、時事問題や年鑑、伝記、言語等の資料を充実させます。
- ・「小学生が選ぶ子どもの本総選挙」で選ばれたトップ100冊を購入しました。
- ・低学年でも求める絵本が探し出せるよう、色ラベルを貼って分類するなど、館内整備に力を入れました。
- ・内容が古い本を除籍し、傷んだ本は修理や買い替えを行うなど、新鮮な蔵書構築を心掛けています。
- ・地域住民等から寄附等の申し出があった場合は、図書の買い替えに充てさせてもらいました。

<中学校>

- ・希望図書のアンケートを実施し、子どもの声を選書に反映させています。
- ・自分の力で読める児童文庫を積極的に購入した一方、ケータイ文庫は選定しませんでした。
- ・修学旅行や職場体験などがある際は、関連資料を各学年の廊下に展示しています。
- ・高校入試や各種検定の問題集、時事問題、部活動に関する図書の収集・充実を図っています。

<高校>

- ・バレンタイン、ハロウィン、クリスマスなど、季節ごとに特別貸出を行っています。特別貸出の期間中は、貸出がとても多いと感じます。

○読書相談への対応の充実

<小学校>

- ・学校司書は、授業や子どもたちの要望への対応ができるよう、勤務時間を考慮して出勤しています。
- ・個々の読書傾向を把握し、読書の幅を広げるために、関心とは違った分野の本も勧めています。
- ・日本十進分類法の意味や図書の配置などを説明し、自分で本を探し出せるように指導しています。
- ・図書館だよりを発行し、保護者へも読書活動を紹介しています。
- ・「ブックネットちくま」を利用し、他館から本を借りて希望に沿えるよう努めています。

<中学校>

- ・学校司書に気軽に相談ができる図書館の環境づくりをこころがけ、レファレンスにも応じています。
- ・読みたい本が見つからない子どもへ、学校司書や図書委員が相談に乗っています。
- ・生徒同士、学校司書との普段の会話から、生徒への選書のヒントを得ています。
- ・読書が苦手な生徒への選書には気を付け、アニメや映画の小説版を紹介するなど、読書意欲がかき立てられるよう試みています。

○図書館の環境整備推進

<小学校>

- ・新着本やおすすめ本、セカンドブックコーナー等を設け、子どもたちの関心を引くようにしています。
- ・推薦図書・課題図書・寄贈図書や季節の話題などのコーナーを設けて、利用を促進しています。
- ・ポスターや新聞などの掲示物を貼ると、関心をもって読んでいる姿が見られます。
- ・壁面装飾や読み物、特設コーナーを工夫し、季節を感じられる環境を整えています。
- ・貸出中の本に予約ができるようにしています。

<中学校>

- ・特集や新刊のコーナーは定期的に入れ替え、新鮮で関心を引くような展示の仕方を心掛けています。
- ・話題となったニュースや出来事に関する本の紹介、高校入試対策コーナーを設置し資料の面出しをすることで関心を集めるようにしました。
- ・読書感想画コンクールの対象となる図書は特設コーナーを設けてPRし、美術部以外の生徒も関心を持てるよう、展示の仕方を工夫しました。
- ・壁面書架の照度が基準以下だったため、LEDライトを設置しました。
- ・図書館の廊下側の窓から書架がのぞけるような造りでしたが、プライバシーに配慮しカーテンを設置しました。
- ・資料を見直し、カラーが豊富な資料を新たに購入しました。

○家庭との連携の推進

<小学校>

- ・親子読書カードの配布や活用を促し、家庭での読書を呼び掛けています。
- ・図書館だよりを定期的に発行し、質の高い本を紹介しています。
- ・読書週間中は「ノーテレビデー・ノーテレビアワー・ノーゲームデー」をお願いしています。
- ・学期ごとに、通知表へ図書館利用(借りた冊数)を記載しています。
- ・児童を通じて保護者が学校図書館の本を利用できるので、保護者向けの図書を購入するなど、保護者の関心を高めやすい環境をつくっています。

<中学校>

- ・図書館だよりを定期的に発行し、質の高い本を紹介しています。
- ・参観日など保護者が図書館を見学する際には、中学の蔵書に関心をもってもらうため、目立つところに本を面出ししています。

○「ブックネットちくま」の有効活用

<小学校>

- ・各館の蔵書がわかるので、自校にないものを迅速に取り寄せられ、とても有効です。
- ・学校図書館で購入を検討している本は、現物を借りて確認することができ便利です。
- ・自校が蔵書点検で利用できない期間中、市立図書館から本を借りることができました。
- ・事前に学習内容を把握し、授業に合わせた資料を購入・貸借するよう努めました。

<資料編>

<中学校>

- ・1日1便(以前は2便)となり、不便さを感じる場合があります。利用者を待たせないよう、気を付けて貸借依頼をしています。
- ・調べ学習用の資料が充実しているため、他校へたくさん貸し出すことができました。
- ・中学生に人気の本を調査し、自校にない本は他校から取り寄せて展示を行いました。

○図書館関係職員等の資質向上

<小学校>

- ・年間を通じて学校司書の研修が計画されていて、大変勉強になると感じました。
- ・おすすめ本や読み聞かせリストなどの資料の交換、実践発表も行っています。
- ・更新されたシステムの講習には積極的に参加し、疑問点の改善を図るよう努めました。
- ・PTAとの情報交換を定期的に行っています。

<中学校>

- ・各種研修会への参加を行うほか、他館を見学し、選書の基準や館内レイアウトの工夫について情報交換を図り、積極的に学ぼうと努めています。
- ・学校司書間の研修会では、テーマを決めて資料を持ち寄り、互いの館について情報交換に努めています。

○強化や追加した事業

<小学校>

- ・選書や読み聞かせなど、すぐ実践できる内容の研修会を行いました。
- ・日本十進分類法の意味や書架の配置に関する指導を行い、図書館利用を促進しました。

<中学校>

- ・ビブリオバトル(参加者が一人5分間でおすすめ本の紹介を行い、一番読みたくなった本への投票を行う読書競技)を開催するなど、新しい試みを始めました。

○成果・課題

<小学校>

- ・来館する子どもが増え、テーマコーナーや新刊の図書に関心を持ち、借りていくようになったと感じています。
- ・教員が、期限内に読み切れるよう指導し、読書が苦手な子どもでも本の世界に浸れるよう努めています。
- ・親子読書や弟妹へ読み聞かせを行うことで、本の面白さや読み聞かせの楽しさに気が付いた子どもが、家族のためにと借りていく姿が見られます。
- ・読み聞かせ講師等を招き、保護者も参加した読書活動ができるようにしたいと考えています。
- ・年鑑や統計は、毎年購入しないと情報がどんどん古くなりますが、継続購入は予算上厳しいと感じます。
- ・各省庁のホームページを紹介するなど、図書にとらわれない情報の提供を行いました。これからの司書は、様々な媒体による情報提供も必要ではと感じます。

<中学校>

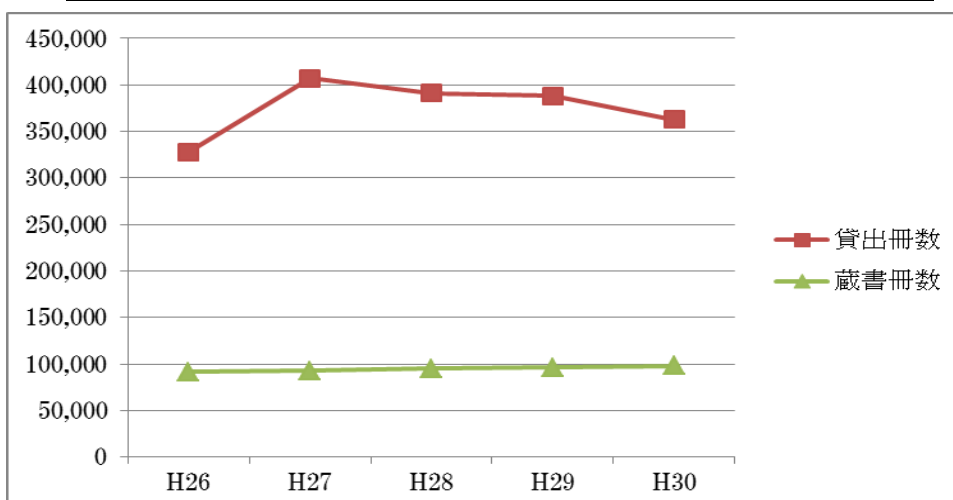
- ・読書に関する様々な指導や試みを行った結果、授業の課題以外でも、図書館を活用するという意欲が見られるようになりました。
- ・分類や並びを把握したことによって、物語以外への関心が広がり、必要な資料を自分で探し出せる子どもが増えました。
- ・読書感想文や読書感想画の指定図書を展示するコーナーを充実させた結果、コンクールに参加しない生徒も、これらの本を手にする姿が見られました。
- ・生徒の関心に対応する選書の難しさを感じます。特に職業は、多様化が進み様々な職業・就業の本が出版されるため、どう収集し、生徒に供するかが課題となります。

<資料編>

4 学校・市立図書館における貸出等の状況

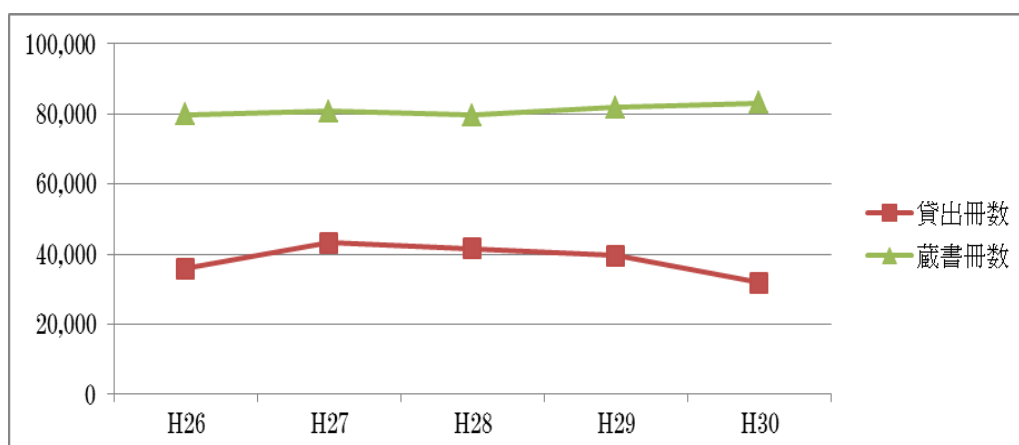
小学校における貸出等の状況

年度	児童数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
H26	3,227	328,000	91,345
H27	3,174	406,930	92,743
H28	3,073	391,192	94,912
H29	2,976	388,248	96,535
H30	2,946	362,578	97,766



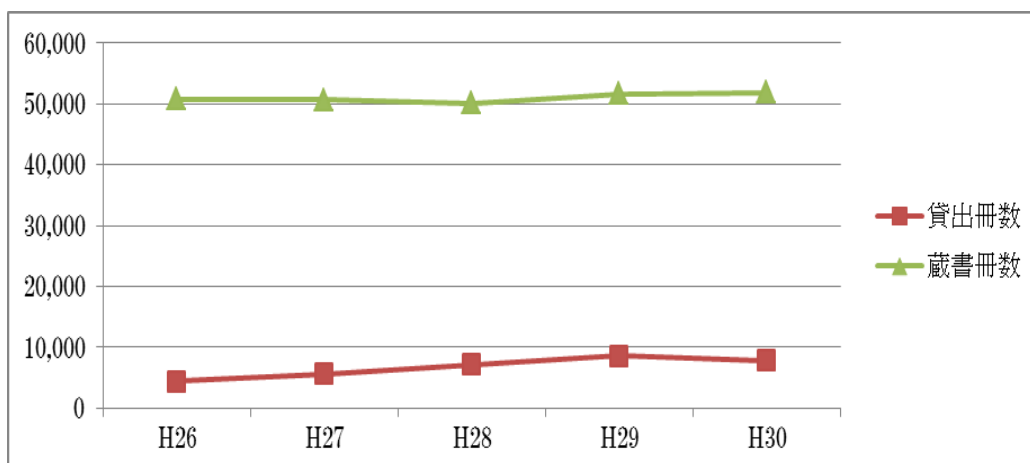
中学校における貸出等の状況

年度	生徒数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
H26	2,026	35,854	79,868
H27	1,989	43,344	80,825
H28	1,976	41,554	79,718
H29	1,924	39,531	81,898
H30	1,876	31,904	83,060



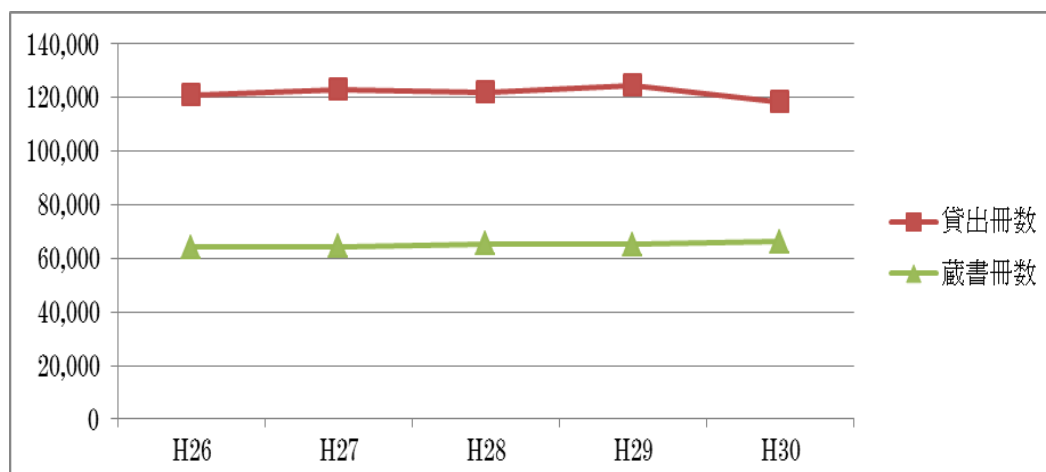
高等学校における貸出等の状況

年度	生徒数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
H26	1,160	4,398	50,802
H27	1,171	5,692	50,710
H28	1,185	7,168	50,122
H29	1,180	8,636	51,663
H30	1,180	7,793	51,889



市立図書館における貸出等の状況

年度	人口(0~18才)人	貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
H26	10,195	121,117	64,265
H27	9,820	123,120	64,402
H28	9,738	122,178	65,540
H29	9,622	124,635	65,109
H30	9,536	118,506	66,243



<資料編>

5 千曲市ブックスタート事業の状況

市立図書館におけるブックスタート事業による配布の状況

年度	対象人数（人）	配布冊数（冊）	絵本プレゼント 配布率
H26	495	285	57.5%
H27	430	345	80.2%
H28	361	266	73.6%
H29	510	292	57.2%
H30	433	324	74.8%

6 千曲市セカンドブック事業の状況

平成 29 年度から小学 1 年生を対象に事業を実施。選定 20 冊のうち 1 冊を配布し、読書・育成支援を行う。配布児童数は 442 名（市内小学校に通う児童 438 名、市外小学校等に通う児童 4 名）。

平成 30 年度は、配布児童数は 486 名（市内小学校に通う児童 485 名、市外小学校等に通う児童 1 名）。

【選定 20 冊の書名】

	書 名		書 名
1	王様と九人のきょうだい	11	エルマーのぼうけん
2	おおかみと七ひきのこやぎ	12	おしゃべりなたまごやき
3	ねずみのすもう	13	かわいそうなぞう
4	みるなのくら	14	おまえうまそうだな
5	雪の女王	15	にじいろのさかな
6	おはなしのきょうしつ	16	ろくべえまってるよ
7	かがくのとも きゅうきゅうばこ	17	しっぽのはたらき
8	ピン・ポン・バス	18	ダンゴムシみつけたよ
9	りんごかもしれない	19	ふゆめがっしょうだん
10	あひるの手紙	20	ホネホネどうぶつえん

7 ブックスタート事業に係るアンケート調査結果

回答数 148 件 (本アンケートには、個々の質問に回答がないものが含まれています)

質問 1 家庭で絵本の読み聞かせをされていますか。

している	していない
142	6

質問 2 どなたが主に読み聞かせをしていますか。(複数に○印をお願いします)

父	母	兄妹	祖父	祖母	その他
73	140	18	6	29	1

質問 3 読み聞かせをされている方にお聞きします。

(1ヶ月に何回位読み聞かせを行いましたか)

5回	10回	15回	20回以上
35	42	1	62

質問 4 ご家族が読み聞かせのための本を使用するために図書館を利用されましたか。

はい	いいえ
78	66

質問 5 ブックスタートについての意見等がございましたらご記入してください。

- ・よい機会でありがたい、よい事業なので継続してほしい・・・30件

【ご意見の抜粋】

- ・絵本プレゼントされてから読む機会が増えていったので、とても良い事業かと思えます。
- ・続けてほしいです。大切な1冊になっています。
- ・とてもありがたいと思います。今後も続けてほしいです。
- ・私たち親子にはとてもいい機会でしたので続けてほしいです。
- ・今後も事業を継続していただき、子どもたちが本に触れ合うきっかけとなっただけならば幸いです。
- ・子どもと親にとって、とても良い事業だと思います。年齢に合った本の選び方読み方など教えてもらいとても参考になります。
- ・どんな本を選んでいいか悩んだときに、こういった事業があると助かります。
- ・お陰様で、よく図書館を利用するようになり、子どもたちも本が大好きになっています。ぜひ今後も続けてください。
- ・7か月に本をいただけるのはうれしいです。図書館利用のきっかけやママ友との出会いの場になりました。
- ・絵本のプレゼントはとてもありがたいのですが、いただく際の会が必要かな・・・と思います。
- ・乳児や兄弟の幼児を連れて会に出席するのは労力がいりますし、もし可能であれば希望の本を近くの図書館まで受け取りに行けたり、郵送してもらえたりするとありがたいです。
- ・市の検診の時(1歳、3歳検診など)に、最適な本の紹介があれば参考になると思います。

<資料編>

8 セカンドブック事業に係るアンケート調査結果

回答数 340件 (本アンケートには、個々の質問に回答がないものが含まれています)

質問1 プレゼントされた本を家庭で読み聞かせをされていますか。

している	していない
212	123

質問2 児童が一人でも読書をしていますか。

はい	いいえ
286	40

質問3 読み聞かせを含め、週に何時間の読書をしていますか。

30分程度	1時間～2時間	3時間程度	5時間以上
38	192	32	28

質問4 本のプレゼントがきっかけとなり、お子様が読書に親しむようになりましたか。

- ・もともと本が好きです・・・50件
- ・親しむようになった・・・25件
- ・本が好きになるきっかけになりました・・・40件

【ご意見の抜粋】

- ・プレゼントされたことが嬉しいみたいで、長めの内容の本も読むようになりました。
- ・本が好きだったので、セカンドブックで本をいただいたことにより、一層本に興味があった。
- ・図書館でもたくさん本を借りてきてくれます。頂いた本の作者の方の本をよく借りてきます。
- ・テレビやゲームがある時代なので、本の興味を持つ良いきっかけはなると思います。
- ・プレゼントは本当に喜んで何度も手に取り、図書館に行こうと言うことも増えたように思う。
- ・特にプレゼントがという事ではありませんが、プレゼントの本をうれしそうに何度も読み直しています。
- ・自分で選んだ本なので、セカンドブックでいただいた本はものすごく大切に読んでいます。
- ・あまり読書をしない。
- ・読書する姿はみられないですが、読み聞かせは、よく聞いてくれます。
- ・親しんでいない。
- ・いただいた時はよく読んでいた。一時的に読んだが、継続出来なかった。
- ・読書のきっかけにならなかった。
- ・以前と変わらない。関心がない。

質問5 セカンドブックについての意見等がございましたらご記入ください。

- ・とてもいい事業だと思います・・・30件
- ・いい取り組みだと思いますので、続けて欲しいと思います・・・28件

【ご意見の抜粋】

- ・ブックスタートとは違い、自分で選んでもらえることが、本に親しみを持つきっかけになるような気がします。
- ・セカンドブックは子どもが選ぶ楽しみもあり、手元に来てから自分で読む楽しみもありとても喜んでいました。
- ・何冊の中から、本を選んでよかった。
- ・もらったばかりの時は何回も読んで、その内容を話してくれた。
- ・もう少し広い範囲から選べるとうれしいです。
- ・個人プレゼントをしなくても良いように思う。図書館の本を充実させてほしい。
- ・もう少し今時の本も選択肢にあるとよいかと思えます。

質問 6 ノーテレビタイム・ノーゲームタイム等の時間を設定するなど、読書に親しむ環境づくりをしていますか。

はい	いいえ
139	174

質問 7 家庭での読書に親しむ環境づくりについて、ご意見等がございましたらご記入ください。

- ・寝る前、読み聞かせや読書の時間にしている・・・21件

【ご意見の抜粋】

- ・親が本を読んでいると、一緒になって本を読みだしている。
- ・子ども用の本棚を用意し、すぐ読めるようにしている。
- ・マンガからでも文字を読むことを大事にしています。
- ・他の家庭ではできているのか気になります。
- ・無理せずに、本がそばにある環境を作っています。
- ・食事を作っている時間に本を読むようにしています。
- ・寝る前の家族読書タイムの実施
- ・休日に読み聞かせをしている。
- ・読書を強制する環境はつくろうとは思わない。

質問 8 各種団体が開催している読み聞かせについて、ご感想等をご記入ください。

- ・とてもいい活動なので、続けていただきたいです・・・25件
- ・子どもにも好評なので、是非継続してほしいです・・・5件
- ・家で読んであげられないので、良いと思います・・・5件

【ご意見の抜粋】

- ・とてもありがたいと思っている。何気なく聞いていると思うが、とても心にひびいていると思う。
- ・本に親しむ機会を作っていただける事はありがたいです。
- ・学校での読み聞かせの時間を増やしてほしい。
- ・学校の読み聞かせを、とても楽しみにしています。
- ・内容が幼いものが多い気がする。
- ・今まで興味のなかった本に触れ合えることもできるので、とても良い機会だと思います。

千曲市子ども読書活動推進計画策定委員会要領

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月12日法律第154号)第9条第2項の規定に基づき、千曲市子ども読書活動推進計画を策定するため、千曲市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

(1) 学校関係者、保育及び幼児教育関係者

(2) 学識経験者

(3) 関係団体代表者

(4) 公募による者

(任期)

第3条 委員の任期は、千曲市子ども読書活動推進計画の策定が終了する日までの間とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長になる。

2 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において行う。

(補足)

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成21年6月1日から施行する。

策定までの主な経過（計画）

期 日	会議・内容等
令和元年6月18日	千曲市立図書館協議会において、第三次子ども読書活動推進計画策定について説明
令和元年8月下旬	幼稚園・保育園等（学校除く）へアンケート調査依頼
令和元年11月27日	第1回第三次子ども読書活動推進計画策定委員会 任命書交付及び素案の検討
令和元年12月24日～ 令和2年1月25日	パブリックコメント実施
令和2年2月4日	第2回第三次子ども読書活動推進計画策定委員会 パブリックコメント考慮し最終案作成
令和2年2月12日	社会教育委員会にて推進計画（案）報告及び承認
令和2年2月26日	教育委員会定例会にて推進計画（案）報告及び承認
令和2年3月6日	総務文教常任委員会にて推進計画報告

第三次千曲市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

区 分	氏 名	選出団体等
学校保育及び 幼児教育関係者	酒 井 康 行	小中学校長会代表
	鈴 木 綾	学校司書部会代表
	寺 澤 孝 一	更埴PTA連合会代表
学識経験者 関係団体関係者	滝 沢 通 雄	更埴図書館講座講師
	竹 内 長 生	戸倉史談会会長
	小 林 いせ子	更埴図書館講座講師 読書アドバイザー
社会教育関係者	北 村 勝 則	市公民館運営協議会代表
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	北 澤 美 秀	保育園保護者代表（八幡保育園）
	北 原 美知子	一般
	桑 原 悦 子	一般

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

第三次千曲市子ども読書活動推進計画

令和2年4月

発行 千曲市教育委員会
編集 千曲市教育委員会 生涯学習課